

研究・調査報告書

報告書番号	担当
24	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳) Alcohol drinking in never users of tobacco, cigarette smoking in never drinkers, and the risk of head and neck cancer: pooled analysis in the International Head and Neck Cancer Epidemiology Consortium. 非喫煙者における飲酒および非飲酒者における喫煙の頭頸部ガンリスク—国際頭頸部ガン疫学共同研究より統合解析	
執筆者	
Hashibe M, Brennan P, Benhamou S, Castellsague X, Chen C, Curado MP, et al.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Natl Cancer Inst. 2007 May 16;99(10):777-89.	
キーワード	
アルコール、喫煙、頭頸部ガン、疫学、統合解析	
要 旨	
<p>背景: 頭頸部ガンの少なくとも 75%は喫煙と飲酒に起因する。一方のリスクがない場合のそれぞれの因子の頭頸部ガンとの独立の関連を正確に理解することが、頭頸部における発ガン性のメカニズムを理解すること、またそれぞれのリスクに介入による効果推定のために必要である。</p> <p>方法: 生涯非飲酒における喫煙、および生涯非喫煙者における飲酒の頭頸部ガンとの関連を検討した。独立した 15 の症例対照研究より頭頸部ガン 10,244 症例と 15,277 例の対照の個人データを得た。これらのうち、1,072 症例と 5,775 例の対照が生涯非喫煙者であり、1,598 症例と 4,051 例の対照が生涯非飲酒者であった。オッズ比(OR)と 95%信頼区間(CI)を条件なしのロジスティック回帰モデルで求めた。すべて両側検定を用いた。</p> <p>結果: 生涯非飲酒者では、喫煙は頭頸部ガンのリスク増加と関連があり (OR=2.13, 95%CI=1.52 to 2.9)、喫煙頻度、期間、pack-year (生涯喫煙量) と明らかな量反応関係があった。本研究の非飲酒者である頭頸部ガン症例の約 24% (95%CI=16% - 31%) が、喫煙しなければ予防できたと考えられた。生涯非喫煙者では、飲酒頻度が高いとき、飲酒は頭頸部ガンと関連した (1日あたり 3-4 ドリンク vs. 非飲酒の OR=2.04, 95%CI=1.29 to 3.21)。高頻度飲酒との関連は、中咽頭癌、下咽頭癌、喉頭癌に限られていた。</p> <p>結論: 本研究では、頭頸部ガンと 2 大リスクとのそれぞれ独立した関連について得られる最も正確な推定が示された。本研究はガン疫学における共同研究の重要性を実証した。</p>	